

大学生による地域資源を生かしたデザイン提案発表会

対 象 エ リ ア	南越前町今庄宿
日 時	平成25年2月9日（土） 13:30～15:30
開 催 場 所	今庄地区公民館今庄分館（昭和会館）
対象者（人数）	今庄地区の住民 参加者30名
主 催	今庄地区公民館今庄分館
主 管	NPO法人 今庄旅籠塾
共 催	福井県
後 援	今庄観光協会 今庄観光ボランティア協会
協 力	福井大学工学部建築建設工学科
発 表 者	福井大学工学部建築建設工学科 2年生 約40人
ね ら い	学生が今庄宿の地域資源を生かして新たな生活環境を創出する提案を住民にすることで、地域の資産を再認識してもらい、今後のまちづくりの参考にしてもらおう。
テ ー マ	「旧宿場の地域資源を生かした生活環境のリ・デザイン」 今も北国街道の宿場町としての面影を色濃く残す今庄の歴史的まち並みをより良く残していくため、観光交流や滞在宿泊、さらには食や温泉による交流拠点づくりを考える。
プ ロ グ ラ ム	1. 3班に分かれ、提案発表 発表学生14グループを3班に分け、模型などを利用して提案を発表する。発表内容について、住民と意見交換などを行う。 2. 代表3グループによる全体発表 それぞれの班で一番良い提案を選び、全員の前で改めて発表する。 3. 講評等 提案内容について、住民と意見交換や感想などをもらう。
準 備 物	・発表提案パネル、模型 学生が製作 ・有孔ボード 提案パネルを貼り付けるための物 など



今庄宿は江戸期の北国街道の要衝としてにぎわった。天保年間の記録では、旅籠55軒、茶屋15軒、酒屋15軒が店を構えたという。今では建物の老朽化や過疎化で、その歴史的な面影が薄れつつある。



最初に今庄地区公民館長および福井県土木部技幹から、今回の発表会について意義も含めて挨拶をしてもらった。



福井大学工学部建築建設工学科の担当教官から、今回の発表会のテーマの説明をもらった。



今庄宿のまち並みをまちづくりに生かそうと、地区住民の方は学生の提案に真剣に耳を傾け、積極的に意見交換などを行っていた。



最優秀賞を受賞した「今庄のまちで味わうSlow Life」の提案風景。

魅力的な古民家をゲストハウスに改修し、郷土料理を提供したり、浴場を整備して地域住民との交流も楽しめる場を提案。また、蔵をカフェに改造して地酒やそばを味わえる若者向けのスポットも計画した。



優秀賞を受賞した「ミチシルベ」の提案風景。

散在する資源を道するべや参道で有機的につなげ、小さな変化にも着目して全体に仕掛けていく発想を提案した。



住民による投票により、最優秀賞と優秀賞を決定。公民館長とNPO法人今庄旅籠塾長より表彰してもらった。



最後にNPO法人今庄旅籠塾長より挨拶をもらった。若者らしい感性で今庄宿の魅力向上の方策を提案してもらった内容を、今後のまちづくりに生かしたいと話をされた。

参加者の意見・感想など

- ・ 地元住民も知らない視点場を見つけて提案してくれたりして参考になった
- ・ 北国街道沿いではなく路地に着眼しての提案は素晴らしい
- ・ 増えつつある独居老人の課題に対して、きちんと向き合っ解決するための施設を提案してくれたのは、大変うれしかった
- ・ 古民家をゲストハウスに改修する案などは、少し手を加えれば現実可能な提案だ
- ・ 観光や宿泊滞在、路地裏で繋がる人々の新しい生活などまで、あり方を具体的にまとめ提案していて分かりやすかった